

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒を育成します。
- ・誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒を育成します。
- ・生命や人権を尊重し、心身共にたくましい生徒を育成します。
- ・主権者として意欲的に社会参画していく生徒を育成します。
- ・英理総合コースでは、国際社会や様々な分野で活躍できるリーダーを育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・基礎・基本の定着の徹底と活用を図り、確実な学力向上を図ります。
- ・多岐にわたる生徒の進路希望実現にむけて、コースや多様な学校設定科目を設ける等、生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな指導を行います。
- ・「総合的な探究の時間」と各教科・科目が連携して、SDGsを主軸とする充実した探究活動を行います。
- ・2年生全員が、地域や企業と連携したインターンシップ(就業体験)に参加し、社会的・職業的自立について追究します。
- ・英理総合コースでは、各種語学研修や多彩なサイエンス・ラボ、数多くの先端技術・研究の見学や講演会等、豊富な体験活動を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ・本校の教育方針を理解し、本校への志望理由が明確である生徒。
- ・基本的な生活習慣を確立し、学業と部活動及びボランティア活動に積極的に取り組む意欲のある生徒。
- ・主体的に社会参画し、地域に貢献していこうとする強い意志を持っている生徒。

スクール・ミッション

峡東地域の伝統ある普通科高校として、幅広い知識と教養を身につけ、自ら課題を発見して他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造していく「生きる力」を育成し、地域との連携を図り、持続可能な地域社会づくりに貢献する学校を目指します。

スクール・ポリシー

1. グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自ら課題を見だし、主体的に学びに向かう力を育成します。【共通】
- 自他を敬愛し、社会のルールやマナーを守る態度を育成します。豊かな情操と道徳心を身に付けます。【共通】
- 望ましい職業観や進路意識を育成します。【共通】
- 郷土愛を育み、将来地域の人財として活躍できる生徒を育成します。【共通】
- 英数教科に興味を持ち、物事を科学的・論理的に考え、表現する力を育成します。【英数】
- 地域の課題を探究し、その解決に取り組む発想力と行動力を育成します。【商業・情報】
- 将来のスペシャリストとして活躍するための基本的な知識・技術の習得に力を入れます。

【商業・情報】

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 多様な進路目標の実現に対応した教育課程編成をします。【共通】
- 少人数授業を実施し、きめ細かな学習指導を行います。【共通】
- 総探の時間で「地域活性化プロジェクト」のもと甲州市と様々な連携を行います。【共通】
- 普通科の生徒が、学科横断的な方法により、商業分野の科目を履修できます。【普通】
- 各種資格取得・検定合格を目指し、キャリア形成を支援する教育を行います。【商業・情報】
- 企業と連携し生徒のアイデアを活かした商品開発に取り組みます。【商業・情報】

3. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- 基礎的な学力を有し、入学後も向学心を持って取り組める生徒【共通】
- 基本的な生活習慣や規範意識等を身に付けた生徒【共通】
- 生徒会・部活動に積極的に取り組もうとする生徒【共通】
- 地域に学び、次世代の担い手として活動する意欲を持った生徒【共通】
- 英数教科に興味・関心を持ち、様々な課題に挑戦する生徒【英数】
- 商業関係の各種検定や競技会に意欲的に取り組む生徒【商業・情報】



山梨県立都留高等学校 スクール・ポリシー

【校訓】

質実剛健

飾り気がなく、まじめで、
強くたくましいこと

自学進取

人に頼らず自ら学び、従来の習慣にとらわれず、
進んで新しい事をしようとする

教育目標

- ・総合的な人間力を高め、次代の地域と日本を担うグローバル人材を育成する。
- ・個性と能力を最大限に伸ばさせ、第一希望の進路実現を図る。

グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

基本方針

- ・校訓「質実剛健」「自学進取」のもと、誠実な心と健康な身体を持ち、学に励み克己に努める、心身ともにたくましく、しなやかな生徒を育成する。
- ・社会を生き抜く力、知・徳・体の調和のとれた力を育み、グローバルな視点、ローカルな行動力を有し、将来、地域や日本、国際社会において活躍できる人材を育成する。

指導重点

より質の高い文武両道を求め、調和のとれた生徒の育成に努める。	自他への思いやりや優しさを持つと同時に、困難を乗り越える強い意志と勇気を持った生徒の育成に努める。	自ら学び、判断し、行動する姿勢を求め、次代の社会を担い、自立して生きていく力を培う。
--------------------------------	---	--

育成を目指す10の資質・能力

	自分に関わる力	他人に関わる力	課題に対する力
I	自己管理能力 (規律性・計画性) 見通しを持ち、自分を律し管理する力	傾聴力 思いやりを持ち、共感的な姿勢で聴く力	課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
II	主体的行動力 自ら進んで行動を起こしていく力 対応力 (柔軟性) 粘り強く、しなやかに対応し解決する力	コミュニケーション力 互いの意思疎通をスムーズにする力	論理的思考力 物事を体系的に捉え筋道を立てて考える力
III	創造力 新しいものをつくりだす力	協働力 複数の人と協力し課題解決しようとする力	プレゼンテーション力 伝えたいことをわかりやすく的確に伝える力

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

基本方針 個性と能力を最大限に伸ばさせ、第一希望の進路実現を図る。

本校教育の主な特色

質の高い学び 県内トップの授業時間 多様な選択科目と質の高い指導 土曜学習会や課外授業 自習室(自学研鑽室)の充実 個に応じたサポート	都留高探究プロジェクト 1,2年次生全員対象課題研究活動 大月市との連携(保小中高連携) フィールドワークや実験・観察等の体験活動を軸としたプログラムの実施	SAクラス 高度(Super)で先駆的(Advanced)、学究的(Academic)な教育 大学・企業・地域と連携した体系的な学び 質の高い学びにより、高い進路目標を実現するクラス	高大連携 大学への訪問 各大学の先生が来校し授業を行う「出前授業」等 東京都立大 都留文科大 健甕科学大との連携協定による学びや交流
---	--	--	---

アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)

志願してほしい生徒像 以下のいずれかにあてはまり本校進学後も継続・発展させていこうとする生徒

高い志と学習意欲を持ち、学習活動において優れた成績を有する者	学習成績が優れて、体育・文化活動において優れた実績・能力を有する者	学習成績が優れて、生徒会活動において優れた実績・能力を有する者
--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

山梨県立上野原高等学校 全日制課程 総合学科

スクール・ポリシー

- 「考える力」「コミュニケーション力」「プレゼンテーション力」「協働する力」を伸ばし、総合学科発表会（12月開催）などを通じてその力をアピールすることができます。
- 自分の希望や可能性に合わせた基礎力、応用力を伸ばすことができます。

グラデュエーション・ポリシー

(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 総合学科高校として、3年間を通してキャリア教育を実践し、本校独自の「ドリカム＝システム」によって一人一人の多様な進路実現を達成します。（「ドリカム＝システム」は本校総合学科の教育内容の総称）
- 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の授業では、自分の進路等に向けた探究活動ができます。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 職業人講話、職場見学、大学訪問、インターンシップなど数多くの体験活動ができます。
- 自分の将来の夢の実現に向けた、多くの進路に対応している選択科目を勉強できます。

アドミッション・ポリシー

(入学者の受け入れに関する方針)

- 高校3年間を通して、主体的、積極的に自分の夢を「探索し」、「確立」し、「実現」しようとする意志を明確に持っている生徒

◇ 山梨県立都留興譲館高等学校のスクールミッション(山梨県教育委員会) ←本校の役割・使命

普通科、工業科及び英語理数科からなる富士・東部地域唯一の総合制高校として、興譲の精神に基づき他人を思いやる心と謙虚な気持ちを育み、学習と部活動の両立を推進するとともに、地域との充実した連携を図ることにより、県内外で活躍できる人材や地域産業を支える人材を育成する学校を目指します。

スクール・ポリシー (高等学校学習指導要領の定めにより各高等学校で定め、公表) 2021.11.29

◇ 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

＝どのような資質・能力を育成することを目指すのか

- ★人を思いやる心と謙虚な気持ちを持つ(興譲の精神)、心豊かな生徒の育成
 - ★自ら学び、友と共に己を磨き続ける生徒の育成
 - ★夢と志を持ち、たくましくしなやかに未来を拓く生徒の育成
 - ★ふるさとを愛し、他者との協働により持続可能な地域社会づくりを目指す生徒の育成
- 普通科
- ★基礎的・基本的な学力の定着と向上、自ら考え判断し行動できる力の育成
- 工業科
- ★専門的な知識と技術力の習得(資格の取得)とコミュニケーション力の育成
- 英語理数科
- ★応用的な学力の習得と、自ら考え判断し行動できる力の育成

◇ 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

＝どのような教育課程を編成し、実施し、学習評価を行うのか

- ★普通科、工業科及び英語理数科のそれぞれの特色を生かした、専門性の高いカリキュラムを編成する。
- ★生徒の学習ニーズ、進路希望に応える多様なカリキュラムの編成と習熟度別授業を実施する。
- ★自己理解を深め、自己と社会との関わりについて深く考え、今後の自己の方向性を見いだすキャリア教育を推進し、社会の形成者として必要な資質を育む。
- ★地域と連携・協働して、多様で豊かな教育を実現する。
- ★観点別学習評価を行い、学習の過程や成果を評価し、学習意欲の向上をはかり、資質、能力の育成に生かす。

◇ 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

＝入学時に期待される生徒像

- ★基本的な生活習慣や中学校での学習内容が身につけており、本校への明確な志望動機を持つ生徒
- ★学ぶこと、考えることを通して、幅広い教養と豊かな感性を身につけ、自らを向上させる意欲と社会に貢献する志を持った生徒
- ★他者への思いやりと謙虚な気持ちを持ち、集団生活や社会生活を送るうえで必要なルールやマナーを守ることのできる生徒
- ★将来の目標を持ち、真面目に学習や部活動等に取り組み、その両立に努力する生徒

スクール・ミッション

* 県立学校としての吉田高校のミッション

吉田高等学校は、富士・東部地域唯一の理数科をもつ伝統校であり、地域に根ざしたコミュニティ・スクールとして、主体性や探究心を高めるとともに、高度な情報社会を生き抜く力を育て、郷土を愛する心をもった日本のリーダーとなる人材を育成する学校を目指します。

スクール・ポリシー（吉田高校スクールポリシー（YSP））

スクール・ミッションを達成するために、本校では、「純剛」（明るく爽やかで、意志強く、飾らないこと）と「百折不撓」（何度困難にあっても決してくじけないこと）の校訓のもと、「質の高い文武両道を保障する環境」の中で、次の教育方針に従って高等学校教育を行います。

○目的：「Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する」

※Yoshida PRIDE とは・・・

「何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心」を表します。

※未来を生き抜くためには・・・

過去に学び、現在を知り、未来を考える手法を学ぶことが必要であると考えます。言い換えれば、「何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心（多様性を受容する姿勢）を持ち、過去に学び、現在を知り、未来を考える資質・能力を備えた生徒を育成する」を教育の目的とします。

グラデュエーション・ポリシー（吉高GP）（育成を目指す資質・能力に関する方針）

上記の目的を達成するために、「質の高い文武両道を保障する環境」と「地域社会の人的、物的資源を利用する環境」の中で、何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心未来を生き抜くことができる人材を育むために、次の汎用的な8つの力を3年間を通して身に付けることを目標とします。

吉高GPの8つの力とは

- | | | |
|---------|-----|------------------------------|
| ① 自己肯定力 | ・・・ | 短所も含めて、自分を認める力を身につけます |
| ② 傾聴力 | ・・・ | 他者の意見を謙虚に聞く習慣を身につけます |
| ③ 分析力 | ・・・ | 事実を客観的に分析する習慣を身につけます |
| ④ 思考力 | ・・・ | 物事を鵜呑みせず、「何故か」を考える習慣を身につけます |
| ⑤ 発信力 | ・・・ | 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法を身につけます |
| ⑥ 想像力 | ・・・ | 未来（結果）を考え、想像する力を身につけます |
| ⑦ 創造力 | ・・・ | 課題を解決する方法を創造する力を身につけます |
| ⑧ 行動力 | ・・・ | 自分の考えに基づき、行動する力を身につけます |

カリキュラム・ポリシー（吉田高校CP）（教育課程の編成及び実施に関する方針）

複雑化・多様化する現代社会の現状を踏まえ、地域社会や我が国、世界が抱える現代的な諸課題に積極的に関わり、地域社会や日本社会、国際社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための領域横断的な学びに重点が置かれた、特色・魅力ある教育が求められていることに鑑み、吉高GPに示す資質能力を育むための教育課程編成及び実施の基本方針は以下のとおりです。

- (1) Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成するために、系統的な知識及び技能を育て、それらを活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、豊かな人間性を育み、そこから再構築された統合的な知見を身に付ける教育課程を編成しています。さらに、社会的課題の分析や解決に資する「見方・考え方」を鍛えていく最先端の学びを実現することを目指します。
- (2) 各教科科目の学びから再構築された統合的な知見に関する学びや、地域社会の課題や魅力に関連させた実践的な学びなどにおいて、吉高GPに対応する学びとして、探究活動に取り組み、特色・魅力ある教育課程を編成・実施することを目指します。
- (3) 教育課程の編成に当たって、普通科は、1学年は全クラスフラット、2年次以降は、文系理系類型を開設しています。また理数科は、共通科目を中心に履修することができるように必教科科目を中心に配置し、2年次以降には、文系・理系の類型に分かれて履修できるようにしています。また教育課程の実施に当たっては、45分授業×7校時制で受講時数を確保し、生徒の特質に応じて国語・数学・英語・地歴・理科などの教科でパート展開しています。
- (4) 吉高GP実現のために、縦軸（3年間通じて）、横軸（教科横断）の視点で3年間の教育全体を俯瞰する教育課程の編成を目指しています。各教科・科目や総合的な探究の時間を各年次にわたって体系的に関連づけることにより、社会との関わりの中で生徒自身が自己の在り方生き方を考えるとともに、各教科・科目等と総合的な探究の時間を往還する学習を実現していくことを目指します。
- (5) 「社会に開かれた教育課程の実現」と「高等学校を核とした地方創生の実現」の好循環の基盤づくりという観点からの体制構築が必要となることに鑑み、学校運営協議会をとおして地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体、社会教育機関、NPO法人、小中学校等との連携・協働を実現するネットワークの構築をすすめ、関係機関には、フィールドワーク先としての協力や社会人講師の派遣等による連携を求めて参ります。
- (6) 大学進学を希望する生徒が多いことを踏まえて、多様な進路希望に応えるために、上級学校が求める知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう姿勢を身に付けることができる教育課程の編成を行います。また、必履修教科科目以外に、学校設定科目を設置することを通して、生徒が希望する進路実現のための効果的効率的な教科科目の配置する教育課程の編成を行います。

アドミッション・ポリシー（吉田高校AP）（入学者の受け入れに関する方針）

- (1) 本校の教育方針や特色、普通科・理数科の特性についてよく理解し、将来の目標を持ち、その実現に必要な課題に積極的に取り組む強い意志を持っている生徒を求めます。
- (2) 周囲と協働できる豊かな人間性を備えている生徒を求めます。
- (3) グローバルな視野をもって主体的に行動し、リーダーシップを発揮できる生徒を求めます。
- (4) 多様な能力・適性や興味・関心を持つ生徒が自分に合った進路を的確に選択できるようにするという視点から、学力検査や中学校が提出する調査書以外で、受検者の中学校段階までの多様な活動を評価して入学者を選抜します。
 - ①普通科においては、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が優秀で、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒や学習成績が優良で、体育活動あるいは文化活動において、県レベル以上の大会で優秀な成績を収めた生徒、または同等の能力を有している生徒のうち、高校入学後も引き続き諸活動に取り組もうとする強い意志をもつ生徒。なお、団体の場合は、中心となって活躍した生徒を求めます。
 - ②理数科においては、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が極めて優秀で、理数教科にも関心を持ち、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒を求めます。

山梨県立富士北稜高等学校 経営方針

スクール・ミッション

校訓 「明日を拓き 未来を創る」のもと

教育目標 「個性および能力の伸長に努め、生徒一人一人の進路実現を図る」

「地域に貢献できる人材を育成する」 の実現のため

富士北麓地域唯一の総合学科高校として、基礎的・基本的な学力を身につけるとともに、主体的に学ぶ力や課題解決力、専門的知識・技術を身につけ、地域を支え、動かし、持続可能な未来を創る人材を育成する学校を目指します。

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

次のような資質をもった地域を支え、動かし、その持続可能な未来を創る人材を育成します。

- 1 社会の課題を発見しそれを解決する意欲を持つ人材
- 2 周囲と協働する力を持つ人材
- 3 身につけた専門的知識や技術を課題解決に活用する思考力、判断力、表現力（OUTPUT 力）を持つ人材
- 4 基本的生活習慣が確立され、社会の一員として必要な規範意識や正義感を身につけた人材

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

「もっといい自分を創ろうよ」自分と社会の「もっといい未来を創ろうよ」をスローガンに次のような教育を行います。

- 1 基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力育成のため、ICT 等を活用しアウトプットを重視した「INPUT：OUTPUT = 3：7」の授業を実践します。
- 2 地域への理解や愛着を育むため、地域を舞台とした実践的・体験的な課題解決型学習を実践します。
- 3 地域の産業、企業、上級学校をよく知り、将来納得のいく進路決定ができるキャリア教育を実践します。
- 4 生徒が目標設定、企画、運営、判断する主体的な教育活動を実践し、結果より過程に注目します。
- 5 全ての教育活動を通して、ルールを守り人間として正しく生きようとする規範意識を育てます。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

総合学科である本校で学ぶことの意義や価値を深く考えるとともに、自己の将来についてしっかりとした目的意識を持っており、次の項目に該当する生徒を求めます。

- 1 義務教育段階における学習内容をしっかり身につけており、向上心をもって意欲的に学ぼうとする生徒
- 2 基本的な生活習慣が確立されており、学校や地域社会の一員として必要な規範意識を身に付けようとする生徒
- 3 特別活動や校外活動においての実績を、本校入学後も意欲的に伸ばそうとする生徒

山梨県立富士河口湖高等学校【普通科】

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

富士河口湖高校では、学校創立以来の「心のゆたかな人間を育てる」という教育方針に基づき、「生きる力」を育む質の高い学びの実現を目指します。

本校では、学習活動や学校行事、生徒会活動、部活動などすべての活動を通して、次のような資質・能力を育成します。（「何ができるようになるか」を次のように定めます。）

1. 自己肯定感、自己有用感、自己効力感を高め、自己実現に自信を持って取り組むことができる力を育成します。
2. 自己のあり方・生き方について考え、自己を表現する力を育成します。
3. 他者を思いやる心と、社会性・規範意識を育成します。
4. 「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力の涵養」を通して、確かな学力を育成します。
5. 自ら課題を見つけ、他者と協力して課題を解決する力を育成します。
6. 地域を知り、将来地域の人財として活躍できる力を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

富士河口湖高校では、「何ができるようになるか」を定めた「グラデュエーション・ポリシー」達成のため、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を具体的に次のように定め、教育活動を行います。

1. 「個別最適な学び」を通して、クラスや個に応じた学びができる環境を整えます。

(1) 1年次は、全員に必要な力を共通して身に付けることを目指して

①学びの基盤となる言語能力、情報活用能力の充実を図ります。

②全クラス共通の内容で実施し、基礎学力の定着を図ります。

(2) 2・3年次は、クラスや個の特性等に応じて多様な可能性を伸ばすことを目指して

①基本的に生徒の文理選択の希望に沿ったクラスを編成します。

②個に応じたきめ細かい教育課程を整え、進路希望の実現を支援します。

2. 「協働的な学び」を通して、切磋琢磨し互いに成長できる環境を整えます。

(1) 「総合的な探究の時間（KIP）」において、探究活動を通して地元の魅力を知るとともに課題発見、課題解決に向けた主体的・協働的な学びを実践します。

(2) 部活動やボランティア活動等の積極的参加を通して「文武一体」の実現を目指し、知・徳・体をバランス良く育む活動に取り組みます。

※「文武一体」とは、

学習活動と学習以外の活動（生徒会活動・学校行事・部活動等）を別なものにとらえるのではなく、双方で得られたものを循環させながら、一体となって伸ばしていく。すなわち、学んだ知識・技能を思考・判断・表現の際に活用することです。

(3) 安心して高校生活を送ることができるよう、全教職員がカウンセリングマインドを持ち、高校生活の悩みなどの相談に対応する体制を整えます。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

富士河口湖高校では、夢と希望を持ち、次のような意欲と熱意のある皆さんを待っています。

1. 規範意識を持ち、学校生活のさまざまな活動を通して社会で必要な協調性とコミュニケーション能力を鍛え、将来の生き方を見つけようとする生徒を募集します。
2. 中学校までの学習内容を確実に身につけており、自己の進路実現を目指して、粘り強く学習に取り組む意欲のある生徒を募集します。
3. 学習や部活動を通して自分を厳しく鍛え、自分の能力をさらに伸ばそうとする熱意のある生徒を募集します。

スクール・ミッション

富士北麓地域における普通科高校として、自信と誇りを持つとともに、多様な価値観を認めることができる人間性豊かな人材や、生まれ育った地域の中心的な存在となり地域に貢献できる人材を育成し、学習にも部活動等にも励むことができる学校を目指します。

スクール・ミッション

県内唯一の昼間二部制定時制高校として、たくましく、しなやかな心を育み、基礎的知識・技術を身につけさせるとともに、社会的自立に必要な実践的能力を伸ばすことで、地域社会に貢献できる学校を目指します。

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自己解決力：積極的・意欲的に学び、さまざまな問題を自分で解決する力
- 自己肯定力：自らの短所も含め、自己を知り、自己を信じて認める力
- 基礎学力：学び直しの上で、進路実現のための基礎的知識・技能
- 行動力：健康増進と進取の気性を涵養し、体力と気力
- 人間性：自他の違いを認め、他者を思いやり、良好な人間関係と社会性を築く姿勢
- 判断力：自分の考えを持ち、責任を持つて的確に判断し行動する力

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 少人数学習やティームティーチングを取り入れ、丁寧できめ細かな指導を行います。
- 基礎基本に重きを置いた学習内容を設定します。
- アクティブラーニングや、ICTの活用など、主体的で実践的な学習内容を設定します。
- 多くの体験学習、学校行事などを通じて、集団の中で他者と協力して推進し実現します。
- キャリアの授業において社会人としての基本的マナーなどを学びます。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- 学び直しの上に、着実に高校の学力を身に着け、進路実現に向けて努力できる生徒
- 反社会的行動を排除し、社会的規範に照らして公正で道徳的な行動ができる生徒
- 自他を尊重し、コミュニケーションを大切にして、積極的に他者や社会と関わる生徒
- 基本的生活習慣の確立に努め、主体的に学校生活に取り組む生徒

山梨県立甲府工業高等学校定時制【工業科(機械科、電気科、建築科)】

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条に教育活動を行っている。
卒業後に地元企業へ就職し、活躍できる人間性や技術力を身に付けさせるとともに、新しい時代に必要となる次の資質・能力を育み、地域社会や産業界に貢献できる人材の育成を目指す。

- 1 社会が必要とする人間力の育成
 - ①社会性 (基本的な生活習慣を身につけ、規範意識のある人)
 - ②道徳性 (他者を思いやることができる人)
 - ③主体性 (自らの考えで正しい行動ができる人)
 - ④社会貢献力 (社会の一員としての自覚と責任をもち、社会に貢献できる人)
- 2 基礎的・基本的な学力の定着
 - ⑤主体的・対話的で深く学ぶ力 (自らの考えを持って話ができ、学びを深めることができる人)
 - ⑥自己肯定感・自己表現 (資格取得・大会等に挑戦し、自分に自信がもてる人)
 - ⑦コミュニケーション力 (話すこと、聞くこと、書くこと、読むことができる人)
- 3 健全な心と強い体を育成
 - ⑧協調性・協働性 (部活動等に積極的に参加し、仲間と共に活動できる人)
 - ⑨自己管理能力 (自分の心と体と行動を自らの判断で管理できる人)
 - ⑩安全教育 (安全面を第一に考えて行動ができる人)
- 4 新しい時代に対応した教育活動を推進
 - ⑪課題解決能力 (自ら課題を見つけ、その解決のために行動ができる人)
 - ⑫勤労意識 (働くことの意味を理解し、行動できる人)

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

人間教育に重点を置き、中学校時代に抱えていた課題等乗り越え、目標をもって学習できる教育内容を整備する。学校全体で交流ができる行事等を実施したり、全員入部制を導入して部活動を奨励したりして、生徒同士の良好な人間関係を構築するなど、社会性・人間力を高める指導を行う。

また、機械・電気・建築に関わる技術や技能を学ぶことで、卒業後の就職や進学につなげ、将来的に地域の産業界で活躍する人材を育成していく。

アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)

定時制で学び、高校を卒業したいとの意思を強く持っており、特に卒業後は機械・電気・建築に関わる仕事に就くことを目指している者を受け入れる高校。

スクール・ミッション

県内唯一の定時制工業高校として、専門的な知識や技術・技能とともに、基礎的・基本的な学力を身につけさせ、基本的な生活習慣や社会人基礎力、勤労観・職業観を育み、地域社会や産業界に貢献する人材を育成する学校を目指します。

山梨県立巨摩高等学校 定時制課程 普通科

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・健康で社会的な生活を実践し、地域に貢献できる人材を育成する。
- ・基礎学力を身につけ、向上心を持ちながら地道な取り組みを継続できる人材を育成する。
- ・感謝と思いやりの気持ちを持ち、周囲の人と協力し合う姿勢を育成する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・キャリア教育を充実させ、働くことの意義を理解させる。
- ・地域の人たちと連携した活動を通して、地域に対する理解と愛着を深めさせる。
- ・成就感や達成感を体験することによって自己肯定感を高め、自分に自信が持てるようにする。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ・少ない人数の中で落ち着いて高校生活を過ごしたいという希望を持っている。
- ・高校卒業の資格を取得し、卒業後は自立した生活を送りたいという明確な意思がある。

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、自ら学ぶ力を育成します。
- ・基本的生活習慣の確立を図り、学業と仕事を両立できる生徒を育成します。
- ・自他を敬愛する豊かな心と協働して物事を創造していく社会性を持つ生徒を育成します。
- ・生命や人権を尊重し、心身共にたくましい生徒を育成します。
- ・主権者として意欲的に社会参画していく生徒を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・生徒の理解度に応じたきめ細かな丁寧な個別指導により、基礎・基本の定着を図り、知る喜びや学ぶ楽しさを体感する授業を展開します。
- ・一人一人の適性に応じた進路実現にむけて、学校設定科目「キャリアスキルアップ」、企業及び上級学校の見学や各種講演会を通して、望ましいキャリア観を育む指導を行います。
- ・「総合的な探究の時間」での多様な体験活動を通して、自己肯定感を育み、社会的自立について追究します。
- ・本校の授業と通信制高校での授業を併修することで、3年間での卒業が可能となります。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ・本校の教育方針を理解し、学校生活を大切にし、何事にも前向きに取り組む意欲がある生徒。
- ・他者と協働して物事に取り組み、社会性を培おうとする意志のある生徒。
- ・学業と仕事を両立させるための努力を惜しまない生徒。

スクール・ミッション

峡東地域唯一の定時制高校として、基礎学力の確実な定着を図り、自己肯定感を育み、社会的・職業的自立に向けて必要となる資質能力を育成し、地域との連携を図り、持続可能な地域社会づくりに貢献する学校を目指します。



【校訓】

質実剛健

飾り気がなく、まじめで、
強くてたくましいこと

自学進取

人に頼らず自ら学び、従来の習慣にとらわれず、
進んで新しい事をしようとする事

教育目標

- ・知徳体の調和のとれた人間の育成に努める。

グラデュエーション・ポリシー
(育成を目指す資質・能力に関する方針)

基本方針

- ・道徳意識・規範意識の向上に努め、豊かな心を育む。
- ・言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。
- ・知力・体力の向上と健康・安全の保持増進に努める。

指導重点

- ・基本的生活習慣の確立を図り、学業と就労の両立を支援する。
- ・生命尊重や公共の精神を育み、集団・社会生活を送る上での道徳意識を育成する。
- ・不断の授業改善、「主体的・対話的で深い学び」の実現により、「確かな学力」の育成に努める。
- ・総合的な探究の時間等を活用して体験学習を充実させ、コミュニケーション能力の育成に努める。
- ・言語活動の充実を図るとともに、漢字検定や英語検定などの資格取得に向けて指導を強化する。
- ・企業見学や職業講話等、就労への意識づけに取り組み、キャリア教育の充実を努める。
- ・家庭、事業所、地域、関係諸機関との連携を密にし、生徒指導の充実を努める。
- ・保健指導、食育指導、安全指導に取り組み、健康で安全な生活を送ることができるよう支援する。

カリキュラム・ポリシー
(教育課程の編成及び実施に関する方針)

基本方針

- ・基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。

本校教育の主な特色

少人数教育の実践	「総合的な探究の時間」を活用した体験学習	漢字検定や英語検定などの資格取得	就労体験の促進によるキャリア教育の充実	保健指導・食育指導、防災指導・交通安全指導の充実
----------	----------------------	------------------	---------------------	--------------------------

アドミッション・ポリシー
(入学者の受け入れに関する方針)

志願してほしい生徒像 本校定時制として、次のような生徒を求める。

- ・仲間を大切に、相手を思いやることのできる生徒
- ・主体的、創造的に考え行動しようとする生徒
- ・社会生活で基盤となる広い教養と知識を身につけようとする生徒

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをします
- 学ぶ楽しさ・わかる喜びを知り、自らの生き方や在り方を問い続ける人
- 社会性を身につけ、自立と自律を目指す人
- 自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 「CHUOハーモニックプラン」（自らを尊ぶこと、社会性を育むことを目的とした取組）に基づいた教育活動を展開します。
- 「種まき・芽生え・成長」という意識で、生徒ひとりひとりの発達段階に応じたサポートをします。
- 少人数授業の中で、「わかった!」、「楽しい!」、「なぜ? どうして?」、「自分だったら」の学びを大切に、個に応じた力を伸ばします。
- 授業や行事の中での「命を守る、命を大切にする」学習を通して、多様化する社会の中を生き抜く力を高めます。
- 総合的な探究の時間での「山梨を知る」探究活動や遠足を通して、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育みます。
- 「自らの生き方や在り方」を深める生活体験文発表や、面接指導など実践的な進路学習を通して、社会的・職業的自立を目指します。
- ソーシャルスキルトレーニングや通級指導を通して、他者との関係をよりよく築けるようにします。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- 真剣に学び直しをしたい生徒
- 少人数の授業で、自分のペースで学びたい生徒
- 自分の生き方・在り方を真剣に考えたい生徒
- 働きながら、学びたい生徒
- もう一度高校をやり直したい生徒

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自らを尊び、社会を生き抜く人づくりをします
- 自ら学び、自らの生き方や在り方を問い続ける人
- 社会性を身につけ、自立と自律を目指す人
- 自らを尊び、他者を尊び、地域を尊ぶ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 「CHUOハーモニックプラン」（自らを尊ぶこと、社会性を育むことを目的とした取組）に基づいた教育活動を展開します。
- 「種まき・芽生え・成長」という意識で、生徒ひとりひとりの目標に応じたサポートをします。
 - 少人数でのスクーリング（面接指導）で、学び方を丁寧に教えます。
 - マルチベーシック（数・英）で、中学校の学び直しを行います。
 - レポートに対して、生徒ひとりひとりに丁寧な添削指導を行います。
 - 学園祭や遠足などの学校行事では、人との関わりを大切にするとともに、地域を愛し、地域に貢献しようとする心を育みます。
 - 社会的・職業的自立ができるよう、生徒ひとりひとりの懇談を大切にし、適切なアドバイスを行います。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- 目的意識があり、自ら「学ぶ」意思を持っている生徒
- 自分の生き方・在り方を真剣に考えたい生徒
- 働きながら、学びたい生徒
- もう一度高校をやり直したい生徒

スクール・ポリシーグラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自主的自律的な生徒の育成
 - ・ 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上
 - ・ 社会性や公共性・道徳心の習得
 - ・ 心身の健康の保持増進
 - ・ 自己肯定感・自己有用感の育成

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 個に応じた学習を充実させるため幅広い講座を開講
 - ・ 課題研究、地域探求、観光ビジネスなど、特色ある授業や基礎から学べる授業の開講
 - ・ 学年で決まった授業ではなく、個々の生徒が興味関心や進路実現に適した講座を選択可能
- 通級授業の開設
 - ・ ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた自立活動の授業を開設
- 普通科と情報経理科の乗り入れ可能
 - ・ 普通科の生徒が情報経理科の授業を、情報経理科の生徒が普通科の授業を受講可能に
- 3年間での卒業も可能とする教育課程の編成
- 体験活動・創作授業・静聴の時間・生活体験文等の充実により自己肯定感・有用感の育成
- 地域の特産品である「吉田のうどん」を教育課程の中に位置づけ、全国的にも有名な「うどん部」の活動内容を学ぶことで、地域理解と実践的な学習活動を推進
- ICT環境等を活用した学習支援や、授業のユニバーサルデザイン化を充実させることで、1人1人を大切にしたい教育活動を展開

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- 学校説明会等に参加し、単位制定時制高校の単位取得方法や学校生活の規則など「ひばりが丘高校」を良く理解した生徒
- 努力して卒業しようという決意がある生徒

スクール・ミッション

富士・東部地域唯一の二部制（昼間部・夜間部）の定時制高校として、基礎学力の確実な定着を図り、自分に誇りを持ち困難に打ち勝つ力を育成し、社会人として自立し役割を担える資質を向上させ、毎日をいきいきと学び、自己を磨くことができる学校を目指します。